

第 3 節 「起業大国」 に向けて

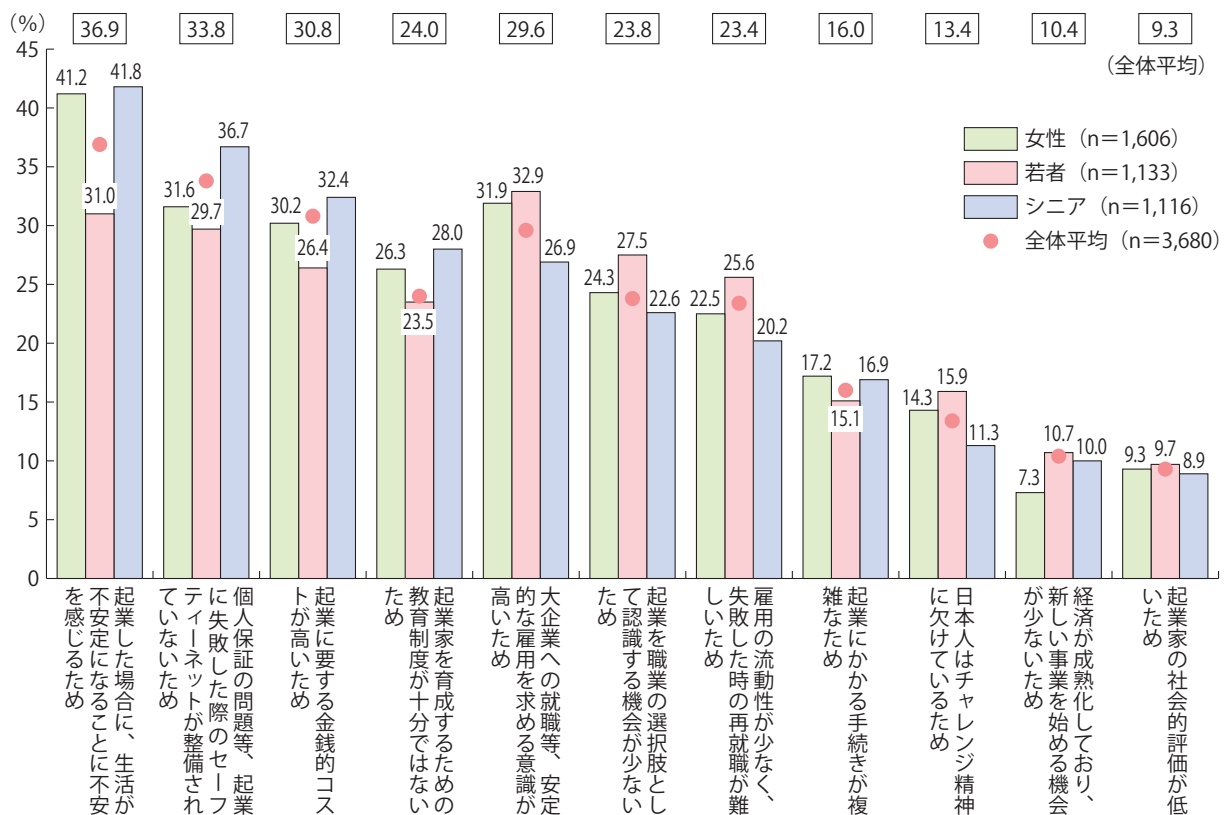
これまで、我が国の起業の現状や潜在的な起業家が段階的に成長していく様子を分析してきた。こうした分析に基づき、我が国における起業をより一層活性化させるために、今後どのような取組を行っていけばよいかについて具体的に論じていく。

初めに、第 3-2-36 図にあるように、起業に関心のある者に対して、我が国の開業率が低い理由として考えられるものを聞いたところ、大きく三つの理由・課題に分類される。まず、一つ目の理由・課題として、「起業家を育成するための教育制度が十分ではない」、「大企業への就職等、安定的な雇用を求める意識が高い」、「起業を職業の選択肢として認識する機会が少ない」といった「起

業意識」に関するものである。二つ目の理由・課題として、「起業した場合に、生活が不安定になることに不安を感じる」、「個人保証の問題等、起業に失敗した際のセーフティーネットが整備されていない」、「雇用の流動性が少なく、失敗した時の再就職が難しい」といった「起業後の生活・収入の不安定化」に関するものである。三つ目の理由・課題として、「起業に要する金銭的成本が高い」、「起業にかかる手続きが煩雑」といった「起業に伴うコストや手続き」に関するものである。

こうした三つの理由・課題を念頭に置きつつ、以下で、具体的な対応策を論じていく（第 3-2-37 図）。

第 3-2-36 図 我が国の開業率が低い理由として考えられるもの（複数回答）



資料：中小企業庁委託「日本の起業環境及び潜在的起業家に関する調査」（2013年12月、三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)）  
 (注) 複数回答のため、合計は100%にはならない。